



センターニュースをお読みの皆様へ

色とりどりの紅葉に包まれる多摩丘陵で、今日もたくさんの方が、島田の坂を登って来てくださいます。ありがたいことです。

一步、地域に出てみますと、如何に島田が必要とされ期待されているのか、直に、肌にヒリリと感じます。職員皆に感じて欲しいと切に願います。時代の変化・医療の進歩に必死な自分と福祉の難しさを背おい、蝸牛のように日々の診療に励んでおります。

日常の関わりの中に喜びや悲しみが繰り返されて、いつも新鮮です。それは利用者さんが、医学書に記載されないような、予想をはるかに超えた力を発揮されるから？

最近、「覚束無い子供の命を懸命に育てたら、親の方が育まれた。」と述べていたお母様の言葉が、とても心に残りました。何年経っても、教わるのがとても多いです。



医療部副部長
大瀧 潮

第44回日本重症心身障害福祉協会 東日本施設協議会に参加



平成29年10月26日(木)、27日(金)の2日間、北海道のホテルポールスター札幌において東日本施設協議会が開催されました。例年11月の開催ではありますが、北海道という事で雪が心配され、今回は1ヶ月早い10月の開催となりました。この2日間、北海道は晴天に恵まれ朝晩の気温差が大きい事から紅葉がまさに見頃でありました。

協議会に先駆け、開催担当施設を代表して医療福祉センター札幌あゆみの園 篠原義文園長より開会の挨拶があり、続いて北海道保健福祉部部長 佐藤敏氏、札幌市保健福祉局障がい保健福祉部部長 山本真司氏よりご挨拶を頂き協議会が開催されました。2日間のプログラムは以下の通りとなっています。

【記念講演】 「笑って生まれ福祉の和」落語家で元札幌市議会議員の林家とんでん平氏から、ご自身の経験をもとに、これまでにない制度を作る為に市議会議員になり、明るく福祉制度を皆さんと一緒に作っていったという話がありました。また、聴覚障害者にも落語を楽しんでいただきたいと手話落語も始められ、一部ご披露頂きました。最後に参加者に童謡どんぐりころころの手話を教えてくださいました。

【理事長講演】 「療養介護の質の向上とガイドライン策定について」日本重症心身障害福祉協会理事長 木実谷哲史氏から、児玉和夫氏を委員長とする特別委員会を

作り、療養介護の日中活動ガイドライン策定について取り組んでいるという話がありました。障害者権利条約の批准以後、国として様々な施策に取り組んでおり、それらと一緒にガイドラインに取り組む必要があるとの説明がありました。



【実践報告及び提言】 「朋の日中活動から考える」社会福祉法人 訪問の家理事長 名里晴美氏、「障がいの重い人の生活を問う」社会福祉法人 伊達コスモス21統括事業管理者 大垣勲男氏、「これからの療養介護とその質」社会福祉法人 北海道療育園園長 林時仲氏より、それぞれの施設の実績報告と問題提議、これからの療養介護、重症心身障害への関わりのお話がありました。

【教育講演】 「麻酔科医の超・準超重症児者への関わりー特に人口呼吸管理ー」医療福祉センター札幌あゆみの園診療部長 山谷和雄氏より講演いただきました。

【協議及び報告】 「診療報酬の動向について」心身障害児総合医療療育センター所長 北住映二氏、そして最後に「障害福祉サービス等診療報酬改定検討チームにおける検討状況」が今回の開催事務局の医療福祉センター札幌あゆみの園より報告されました。

この2日間、非常に盛りだくさんの協議内容がありました。中でも日中活動ガイドラインと医療的ケア児の問題は、今後私達が常に注目し検討していかなくてはならない課題だと再認識致しました。また診療報酬改定の動向については、アンテナを常に張って行きたいと思えます。今回の参加施設60施設、参加者154名。

閉会式で東日本施設協議会会長 木実谷哲史氏より挨拶があり、次回開催担当施設の静岡聖隷おおぞら療育センター所長 木部哲也氏より静岡のご紹介を頂き、最後に大倉山学院院長 出店正隆氏よりお礼の言葉があり閉会となりました。

(事務部次長 森久保 真由美)